

教科内容と運営の概要

社会科スタッフ

1. 基本的な考え方
 - 社会人としてしっかり生活をされている受講生が、その生活を基盤とした個々人の知識・知恵を持ち寄り、それに新たな知識を加え交流する事
 - そして、より良く自己を表現し、元気に学び生活していく助けとなる事
 - ◎ 卒業時に、「私の願い」という「社会科卒業文」を書き発表する事
2. 社会科教科の考え方・進め方
 - 教科の基本的な考え方や進め方は、「社会科教科部会」にて、協議合意を得ることにします
 - 社会科のスタッフは、1年・2年・3年・じっくりに分かれ担当します
 - 社会科スタッフの各クラス担当者はそのクラス毎に、基本に則って講師などの役割・資料作成の分担等の調整をします
 - 原則、年間のテキストを冊子として、最初に作成します
 - ・資料テキスト ・授業テキスト（その時の授業レジメは都度作成あり）
 - 社会科スタッフのミニミーティングを2カ月毎の頻度で行います
3. 授業構成
 - －1. 授業回数
 - ・原則月一回で、年間9～12回／クラス
 - －2. 授業時間
 - ・各回1時限：50分
 - －3. 授業の担当
 - ・原則、各クラス所属の社会科スタッフがそのクラスを担当する。
スタッフ状況により、応援することあり。その為に年間テキストを整備し、スムーズなスタッフ間応援ができるようにしていく。
4. 授業内容のテーマ
 - 原則、1時限のテーマを一つに絞り完結させ、グループ学習織り込む
 - －1. 1年生：北海道について考える／北海の地理歴史
 - －2. 2年生：日本について考える／日本の地理歴史
 - －3. 3年生：社会について考える／環境、政治、経済
 - －4. じっくり：受講生の習熟度合いを考慮しながら時間かけて進める
 - －5. 「5分間トピック」として、テキスト以外のその時折々の話題を短時間にまとめて提供することを、適宜織り込む

カリキュラムの概要

- ① このカリキュラムは一例・参考ですので、適宜修正するものです
- ② 各回の内容は、授業担当者が構成・組み合わせなど適宜考慮する
- ③ テーマを絞る観点から、項目の取捨選択は適宜検討実施する

1年生

「北海道について
考える」

2年生

「日本について
考える」

3年生

「社会について
考える」

1-1 ・自分の住んでいる場所 地図の見方 1-2 ・北海道の地理-1 1-3 ・北海道の地理-2 1-4 ・北海道の歴史-1 1-5 ・北海道の歴史-2 1-6 ・北海道の今 1-7 ・北海道のこれから 1-8 ・お国自慢大会-1 1-9～ ・お国自慢大会-2 ・発表
--

2-1 ・都府県を知る-1 2-2 ・都府県を知る-2 2-3 ・都府県を知る-3 2-4 ・日本の歴史-1 2-5 ・日本の歴史-2 2-6 ・日本の歴史-3 2-7 ・日本の歴史-4 2-8 ・都府県自慢-1 2-9～ ・都府県自慢-2 ・発表
--

3-1 ・日本の政治-1 3-2 ・日本の政治-2 3-3 ・日本の政治-3 3-4 ・環境問題-1 3-5 ・環境問題-2 3-6 ・日本の経済-1 3-7 ・日本の経済-2 3-8 ・卒業文作成-1 [私の願い] 3-9～ ・卒業文作成-2 ・発表

・アイヌ文化を入れる

・地理、歴史の振り分け
 は適宜考慮
 ・都道府県自慢は、個々
 人で行うか、グループ
 で行うかは適宜考慮

・中学教科の「公民」を
 行うが、内容、構成は
 適宜考慮
 ・基本は、テーマを絞る
 こと

○教科の内容は、「北海道について考える」「日本について考える」「社会について考える」が大原則で、細部の項目は適宜重点を絞って構成する。